

# 第四期特定健康診査等実施計画

---

## 通信機器産業健康保険組合

最終更新日：令和6年04月16日

## 特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

背景・現状・基本的な考え方 【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】		
No.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診率は過去5年で一番高く、74.0%</li> <li>・被保険者の健診受診率は、89.6%と高い。</li> <li>・被扶養者の健診受診率は、27.0%と上昇中だがまだ低い状態</li> <li>・また、全体でも目標である90%に対し12%足りていない。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診者機会の周知及び機会拡大</li> <li>・健診未受診者への受診勧奨</li> </ul>
No.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被扶養者（40歳以上）の健診未受診者の内、3年連続健診未受診者は約60%の3,307人と、リスク状況が未把握の状態が長く続いている人の割合が最も高い。</li> <li>・また、3年連続未受診者の中には、無関心だけではなく普段から医療機関を受診している群（パターン⑤）の方が多く存在しているため、医療機関を受診していても健診を受ける必要性を訴求する必要がある。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診者機会の周知及び機会拡大</li> <li>・健診未受診者への受診勧奨</li> </ul>
No.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直近年度の特定保健指導対象率が「積極的支援」及び「動機付け支援」とともに上昇し、かつ他健保よりも割合が高い。</li> <li>・特定保健指導対象から流出した群以上に、流入が発生しているため、指導実施率だけでなく、対象者の割合全体を減少させる施策も必要である。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所と協働で生活改善の重要性、必要性の認知度を高める。</li> <li>・保健指導参加機会の提供・周知</li> <li>・若年者や予備群に対し、将来的なリスクを低減させる取組みを行う。</li> </ul>
No.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満の割合は、他健保平均をやや上回り、また、直近年度で肥満率が上昇しているため、改善に向けた対策の強化が必要である。</li> <li>・肥満者の解消割合は、9.7%のみで、90%以上が肥満者として残存している。</li> <li>・非肥満者と比べると、肥満者の方が健診リスク者数、生活習慣病発生率、重症疾患発生率が高いため、肥満者の解消に向けたアプローチが必要である。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満者数を減少させることで、将来的な生活習慣病リスク及び特定保健指導対象者を減少させる。</li> <li>・「被保険者向け健康ポータルサイト（Pep Up）」の普及（健康年齢等の周知）</li> </ul>
No.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度健診値が予備群であった方内、特に血圧（24.1%）と脂質（7.9%）が維持改善できずに受診勧奨域にシフトしている。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所と協働で生活改善の重要性、必要性の認知度を高める。</li> <li>・保健指導参加機会の提供・周知</li> <li>・予備群に対し、将来的なリスクを低減させる取組みを行う。</li> <li>・「被保険者向け健康ポータルサイト（Pep Up）」の普及（健康年齢等）</li> </ul>
No.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病リスクが高いにもかかわらず、治療を放置している群の人数（割合）は直近年度では減少しているが、他健保と比べると割合がまだ高い状態である。</li> <li>・重症化群の人数と割合も3年連続で増加しており、重症化予防として早期治療につなげるための対策の強化が必要である。</li> <li>・受診勧奨域にもかかわらず、2年連続治療放置者が多く存在する。</li> <li>・医療機関未受診による重症化が疑われる方が存在する。</li> <li>・肥満ではないものの、健診値が悪いリスク者が約6,000人存在し、特定保健指導の対象者からは漏れるため、別途介入対策が必要である。</li> <li>・3大生活習慣病においては、経年で医療費が増加傾向であり、また、重症化疾患においては、脳血管疾患と腎不全の医療費が増加し、引続き生活習慣病対策が必要である。</li> <li>・毎年、一定数の生活習慣病での入院患者が存在している。人工透析の導入により、1人当たり医療費が最も高額となる腎不全の患者が明確に増加しており、重症化となる前の段階で留めることが強く求められる。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病ハイリスクかつ未通院者に対して、早期に治療を受けるように受診を促し、疾病の重症化を防ぐ。</li> <li>・「被保険者向け健康ポータルサイト（Pep Up）」の普及（健康年齢、重症化予防通知等）</li> </ul>
No.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療中断の恐れがある群が337人存在し、リスクが高い状態で放置されている可能性がある。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者本人に状況を確認の上、本人の判断によって放置している場合は受診を促し、重症化を予防する。</li> <li>・「被保険者向け健康ポータルサイト（Pep Up）」の普及（健康年齢、重症化予防通知等）</li> </ul>
No.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年で受療率が増加傾向（5.9%→7.1%）しており、また、直近年度では、他組合より割合が高い状態である。</li> <li>・特に被保険者においては、プレゼンティーズムや傷病手当金の観点からも事業主との情報連携が不可欠であることと、セルフケアの理解を深めるための働きかけが必要である。</li> <li>・年代別では、うつ病の患者数は男性は年齢とともに増加し男性被保険者は40代、女性は若年層がピークで年齢とともに割合が低下している。</li> <li>・特に、他健保と比べると被保険者の若年層（20代から30代）の受診率が高く、また、傷病手当金発生率も高い。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実態及び課題を事業主と共有し、解決策の検討事項とする。</li> <li>・予防対策として、健康相談事業（電話相談：メンタルヘルスカウンセリング）の周知を積極的に推進する。</li> </ul>
No.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック数量比率は目標の80%は超えていて、他健保とほぼ同じ水準である。</li> <li>・ただし、医科入院外（院内処方）と歯科レセプトの後発品割合が低く、底上げをするには更なる、リソースが必要である。</li> <li>・削減期待値は被保険者は50代、被扶養者は若年層が最も高い。（現状では先発品の薬剤費シェア率が高い。）</li> <li>・仮に切替え可能な先発品がすべて最安値の後発品に切替わると122,000千円の削減が見込まれる。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全加入者への継続的な啓発活動の実施</li> <li>・「被保険者向け健康ポータルサイト（Pep Up）」の普及（ジェネリック医薬品使用の促進通知等）</li> <li>・機関紙、ホームページを活用した広報活動の実施</li> </ul>
No.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザの患者数は新型コロナウイルスの影響で激減していたが、直近年度では過去年度ほどではないが大幅に増加している。予防接種等による発症及び重症化予防に向けた取組みの継続が必要である。</li> <li>・属性年齢別では、被保険者は新型コロナ流行前より圧倒的に低い受療率であるが、被扶養者は20歳未満において受療率が相対的に高い状態のため、特に子供世代に対する再発の優先順位が高い。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全加入者への継続的な啓発活動の実施</li> </ul>

No.11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所により健康課題が異なるため、個別の対応が必要となっている。</li> <li>・事業所ごとに組織人数及び年齢構成が異なるため、個別の対応が必要となっている。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康経営に役立てるよう、事業所別に健康レポートを作成し、全事業所に配付する。</li> <li>・事業所の健康対策に関する対策や相談について、対応できる医療専門職（保健師等）との契約を検討する。</li> </ul>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

特定健診・特定保健指導の事業計画 【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

1 事業名 **特定健康診査（被保険者）** 対応する健康課題番号 **No.1**

↓

<b>事業の概要</b> <b>対象</b> 対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者 <b>方法</b> 事業主と連携し、受診機会の拡大を図る。 <b>体制</b> 健診管理システムを構築し、データによる管理を進める。	<b>事業目標</b> 健康状態未把握者を減少させることでリスク者の状況を把握し、適切な改善介入に繋げるための基盤を構築する。 <table border="1"> <tr> <td>アウトカム指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>内臓脂肪症候群該当者割合</td> <td>15%</td> <td>14%</td> <td>13%</td> <td>12%</td> <td>11%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>アウトプット指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>特定健康診査実施率</td> <td>82%</td> <td>84%</td> <td>86%</td> <td>88%</td> <td>90%</td> <td>92%</td> </tr> </table>	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	内臓脂肪症候群該当者割合	15%	14%	13%	12%	11%	10%	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	特定健康診査実施率	82%	84%	86%	88%	90%	92%
アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																							
内臓脂肪症候群該当者割合	15%	14%	13%	12%	11%	10%																							
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																							
特定健康診査実施率	82%	84%	86%	88%	90%	92%																							
<b>実施計画</b> <table border="1"> <tr> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> </tr> <tr> <td>事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。</td> <td>事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。</td> <td>事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。</td> </tr> <tr> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。</td> <td>事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。</td> <td>事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。</td> </tr> </table>		R6年度	R7年度	R8年度	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	R9年度	R10年度	R11年度	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。																
R6年度	R7年度	R8年度																											
事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。																											
R9年度	R10年度	R11年度																											
事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。																											

2 事業名 **特定健康診査（被扶養者）** 対応する健康課題番号 **No.2**

↓

<b>事業の概要</b> <b>対象</b> 対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被扶養者 <b>方法</b> 健診未受診者のパターン分析を基にパターン毎のコンテンツによる健診勧奨通知を送付し、健診受診を促す。 <b>体制</b> 条件別の該当者抽出や通知物の作成・発送はサービス提供事業者に委託し、業務負担の軽減を図る。	<b>事業目標</b> 健康状態未把握者を減少させることでリスク者の状況を把握し、適切な改善介入に繋げるための基盤を構築する。 <table border="1"> <tr> <td>アウトカム指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>内臓脂肪症候群該当者割合</td> <td>15%</td> <td>14%</td> <td>13%</td> <td>12%</td> <td>11%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>アウトプット指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>特定健診実施率</td> <td>45%</td> <td>50%</td> <td>55%</td> <td>60%</td> <td>65%</td> <td>70%</td> </tr> </table>	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	内臓脂肪症候群該当者割合	15%	14%	13%	12%	11%	10%	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	特定健診実施率	45%	50%	55%	60%	65%	70%
アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																							
内臓脂肪症候群該当者割合	15%	14%	13%	12%	11%	10%																							
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																							
特定健診実施率	45%	50%	55%	60%	65%	70%																							
<b>実施計画</b> <table border="1"> <tr> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> </tr> <tr> <td>未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。</td> <td>未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。</td> <td>未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。</td> </tr> <tr> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。</td> <td>未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。</td> <td>未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。</td> </tr> </table>		R6年度	R7年度	R8年度	未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。	未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。	未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。	R9年度	R10年度	R11年度	未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。	未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。	未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。																
R6年度	R7年度	R8年度																											
未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。	未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。	未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。																											
R9年度	R10年度	R11年度																											
未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。	未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。	未受診者を抽出し、漏れなく通知を行う。																											

3 事業名 **特定保健指導** 対応する健康課題番号 **No.3, No.4**

↓

<b>事業の概要</b> <b>対象</b> 対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：加入者全員 <b>方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業時間中の実施が可能になるように事業主に働きかける。</li> <li>・ICT指導を活用し、実施機会を拡大する。</li> <li>・医療機関での健診当日の指導が拡大するよう機関側に働きかける。</li> </ul> <b>体制</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主、医療機関、サービス提供者と連携して進めていく。</li> </ul>	<b>事業目標</b> 保健指導実施率の向上及び対象者割合の減少 <table border="1"> <tr> <td>アウトカム指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導対象者割合</td> <td>19%</td> <td>18%</td> <td>17%</td> <td>16%</td> <td>15%</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>肥満解消割合</td> <td>9%</td> <td>10%</td> <td>11%</td> <td>12%</td> <td>13%</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>アウトプット指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導実施率</td> <td>35%</td> <td>40%</td> <td>45%</td> <td>50%</td> <td>55%</td> <td>60%</td> </tr> </table>	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	特定保健指導対象者割合	19%	18%	17%	16%	15%	14%	肥満解消割合	9%	10%	11%	12%	13%	14%	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	特定保健指導実施率	35%	40%	45%	50%	55%	60%
アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																														
特定保健指導対象者割合	19%	18%	17%	16%	15%	14%																														
肥満解消割合	9%	10%	11%	12%	13%	14%																														
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																														
特定保健指導実施率	35%	40%	45%	50%	55%	60%																														
<b>実施計画</b> <table border="1"> <tr> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> </tr> <tr> <td>対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。</td> <td>対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。</td> <td>対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。</td> </tr> <tr> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。</td> <td>対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。</td> <td>対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。</td> </tr> </table>		R6年度	R7年度	R8年度	対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。	対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。	対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。	R9年度	R10年度	R11年度	対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。	対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。	対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。																							
R6年度	R7年度	R8年度																																		
対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。	対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。	対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。																																		
R9年度	R10年度	R11年度																																		
対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。	対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。	対象者に対し、十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す。																																		

4 事業名 簡易生活習慣病予防健診(特定健診項目含む)

対応する健康課題番号 No.1, No.2

事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：18～74、対象者分類：加入者全員
方法	事業主と連携し、受診機会の拡大を図る。
体制	健診管理システムを構築し、データによる管理を進める。

事業目標

健康状態未把握者を減少させることでリスク者の状況を把握し、適切な改善介入に繋げるための基盤を構築する。

アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
被保険者健診実施率	94%	96%	98%	100%	100%	100%
被扶養者健診実施率	36%	40%	45%	50%	55%	60%
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
健診受診率	76%	78%	80%	82%	85%	90%

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。
R9年度	R10年度	R11年度
事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。

5 事業名 生活習慣病予防健診 (特定健診項目含む)

対応する健康課題番号 No.1, No.2

事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：30～74、対象者分類：加入者全員/基準該当者
方法	事業主と連携し、受診機会の拡大を図る。
体制	サービス提供業者と連携して進めていく。

事業目標

健康状態未把握者を減少させることでリスク者の状況を把握し、適切な改善介入に繋げるための基盤を構築する。

アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
被保険者の健診受診率	94%	96%	98%	100%	100%	100%
被扶養者の健診受診率	36%	40%	45%	50%	55%	60%
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
健診受診率	76%	78%	80%	82%	85%	90%

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。
R9年度	R10年度	R11年度
事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。

6 事業名 人間ドック (特定健診項目含む)

対応する健康課題番号 No.1, No.2

事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：加入者全員/基準該当者
方法	事業主と連携し、受診機会の拡大を図る。
体制	サービス提供業者と連携して進めていく。

事業目標

健康状態未把握者を減少させることでリスク者の状況を把握し、適切な改善介入に繋げるための基盤を構築する。

アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
被保険者の健診受診率	94%	96%	98%	100%	100%	100%
被扶養者の健診受診率	36%	40%	45%	50%	55%	60%
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
健診受診率	76%	78%	80%	82%	85%	90%

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。
R9年度	R10年度	R11年度
事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	事業主と協力し、受診環境の整備及び未受診者に対する受診勧奨を徹底する。

- ※1) 特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）
  - ※2) 特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）
  - ※3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。
-